

「皮膚皮下腫瘍摘出術パス：全身麻酔」（患者用）

形成外科：













病棟

号室

様

患者さんには、治療計画に基づいた医療を行います。

説明年月日 年 月 日

項目	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
イベント	手術前日（入院日）	手術前	術後	術後1日	術後2日目
目標	気持ちが手術に向かえる	手術が受けられる	・手術後の経過が順調である ・痛みがコントロールできる	（創部の感染がなく、創部の管が抜けたら退院の予定です）	
食事	普通食 	食事（ ）時から中止 水分（ ）時から中止 	・病棟に帰室し、4時間後から水分摂取ができます ・水分摂取後、嘔気・嘔吐がなければ夕食から開始します 	普通食が出ます 	
治療	入院中は、定期的に体温・血圧・脈拍の測定をします 				
	■病状に応じて必要な検査を行います（採血・レントゲン検査・その他検査）				
検査	入院時に身長・体重を測定します	（ ）時（ ）分 手術室へ行きます 	手術後は ・酸素飽和度モニターを装着します → ・酸素投与をします → 呼吸の状態で中止します ・創近くに管が入ります ・尿管が入ります ・点滴をします：輸液 → 抗菌剤 ・フロートロン装着又は弾性ストッキングを履きます（静脈血栓予防のため）	創部の確認をします → 医師の指示で終了します	
点滴		手術前に点滴の針を挿入し、開始します		医師の指示で尿管を抜きます	創の管は、排液の状況で医師の判断で抜去します
処置				歩行開始後に外せます	抗菌剤は創部の管を抜去まで継続します（点滴終了後、内服薬になることがあります）
経過	活動に制限はありません		ベッド上安静です ※手術後の体位などは手術部位で異なりますので医師又は看護師から説明します 	※翌日からの安静度は、手術部位等によって異なります 医師または看護師から説明します 	
	活動			歩行可能になりましたら、初回は看護師と一緒に歩行 その後歩行可能です	
清潔	手術前日のためシャワーに入ってください	入浴・シャワーはできません 		・看護師がお手伝いします ・体拭きをします 	・創部の管を抜去後、全身シャワー浴ができます 抜糸前は創部が濡れない用に保護します *入院中に抜糸がない場合があります 
内服薬	・薬剤師による持参薬の確認があります ・入院中は医師の指示に従い内服してください	・医師の指示があった薬を飲みます		・医師の指示があった薬を内服します ・痛み止めの内服薬があります	・通常通り内服します 
説明	■医師から手術の説明があります 手術の同意書にサインを頂きます ■看護師から以下の事を説明します ・患者識別バンドを装着します ・入院生活について ・手術の準備と必要物品について	【手術前日】 ・麻酔科医の訪問があります ・手術室看護師による説明もあります	・気分が悪い時、痛みが強くなる時は、お知らせください 【創部の処置】 ★創部の処置方法を説明します 退院後も継続してください 	【日常生活で気をつけること】 ★抜糸前後のシャワー浴の方法 ★痛みがある場合の鎮痛剤の内服 ★次回外来日をお伝えします	

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします

東京女子医科大学附属足立医療センター

パス改訂：2022年11月